

いしはらのさときょうぎかい

いしはらの里協議会

～つどう ふれあう 助け合う いいとこ石原～



やまさとの市



サマースクール

経緯

- 過疎高齢化が進むなか、ガソリンスタンド休止、生活店舗の縮小などを契機として住民によるワークショップを開催。
- いしはらの里協議会を設立し、旧石原小学校を拠点に集落活動センターを開所、小さな拠点づくりに果敢に挑戦中。

取組内容

- 集落活動センターを拠点に、農産物・加工品の直販や生活店舗・ガソリンスタンドの運営、旧小学校を宿泊施設に改装した宿泊事業、各種交流事業などを実施。地域の伝統行事の継承。
- 地域資源である木材の活用策としてモデル住宅を建築し、山元から大工さんまで一貫した木材活用策へ、人材育成に取り組む。
- 老舗ホテルの宿泊客を受け入れ、アメゴつかみ体験や田舎料理を提供。

活動の効果

- 活動を通じ、地域のリーダーや担い手が育ち始めた。
- 地域内外の交流機会が増え、大学生の受入事業を行った結果、地域行事への参加者が増え、活気を取り戻しつつある。
- 合同会社が運営する生活店舗や直販所、直販市「よさく市」等での一次産品や加工品の直販をはじめ、農林業体験等の交流事業を通じて住民の所得向上に寄与。
- 専門家の助言を得て、経済的自立による持続可能な活動の仕組みづくりを目指す。

応募団体からのアピール・メッセージ

開所以来、国や自治体、大学等から多くの視察・研修者が訪れているほか、各種フォーラム等への登壇依頼も多い。今後も積極的に交流と受入を行い、これまでに得た知見を共有していきたい。